



三陸総合運動公園

## その他の体育施設



盛川河川敷公園



市民ボランティアによる芝生化

三陸町綾里の高台に構える三陸総合運動公園は、震災以降市内の中心的スポーツ施設として、社会人野球の大会や、少年野球のマクドナルドトーナメント岩手県大会の会場に利用されるなど週末には多くの方々が訪れています。また、小学校陸上記録会や市老人クラブ大運動会が開催されるなど、競技種目や年代を問わず幅広く利用されています。

震災後、盛川河川敷公園は日本サッカー協会からの支援を受け、市民ボランティアによる芝生苗の植付けが行なわれ、天然芝グラウンドとして整備されました。

平成28年度には、希望郷いわて国体グラウンドゴルフ競技が開催されるなど、市民の日常的な憩いの場としてだけでなく、各種スポーツ大会の会場としても大きな役割を果たしています。

## 今後のスポーツ振興に向けて

施設の復旧が進むにつれ、利用者は、平成26年度には約34万人で、震災前の約7割まで回復しましたが、その後、伸び悩んでいます。

その理由として、人口減少の進行やスポーツ少年団活動の縮小、県大会規模の大会開催数の減少などが考えられます。

今後、市では、将来的な人口の推移や施設利用者のニーズなどをもとに、社会体育施設のあり方について検討し、施設の整備・充実に一層力を入れながら、市民の多様なスポーツ・レクリエーション活動への積極的な参加を促していきます。

また、スポーツを通じた交流人口の拡大と、それによる地域経済の活性化を図るため、市内の関係団体はもとより、必要に応じて近隣市町と連携を図りながら、赤崎グラウンドを中心とした各種スポーツイベントや合宿の誘致に取り組むなど、スポーツ振興によるまちづくりを推進していきます。

(5) 広報大船渡 30. 7. 5(No. 1130)

▷ 問い合わせ＝市役所 ☎0192⑦3111



改修後の市民体育館でプレーを楽しむ子どもたち



復旧工事を終えた市民体育館

東日本大震災津波により1階部分が浸水し、土砂や流木、ガレキが周囲を埋め尽くしました。また、隣接する市民プールは復旧の目途が立たず、のちに解体されるなど大きな被害を受け、平成24年度までの約2年間にわたり、利用を休止せざるを得ない状態となりました。平成25年度から復旧工事に着手。損傷の激しかった内外壁面のクラック補修を中心に、電気設備、機械設備の改修などを行い、翌26年度に待望の供用再開を果たしました。平成28年度には耐震改修をはじめ、空調設備改修や天井板の更新、照明のLED化を行い、昭和53年の建設から40年あまりが経過し、劣化が進む施設の長寿命化のみならず、利用者の利便性、快適性の向上も図りました。

本年度は、老朽化の激しい南側外壁の修繕とサッシ周辺のコーキング、雨どいや屋上部防水の補修を行い、長年の課題であった雨漏りの改善に取り組んでいきます。また、市内スポーツ施設の核として、将来を見据えて設備などのさらなる充実を目指します。



被災直後の市民体育館(外観)



被災直後の市民体育館(内部)